



道新 ワークシート

年 組 名前

2021年4月10日(土) 朝刊 全道版 サタデーどうしん 19P (記事は再編集しています)



ファーストエアラインズが手掛ける旅客機を模した室内。ゴーグル型端末で観光地巡りを体験する客たち＝3月下旬、東京都豊島区(守屋裕之撮影)



オンライン旅行の参加者が視聴するパソコン画面。流水の画像や動画、新村さんの中継が楽しめる＝3月中旬、東京都内(守屋裕之撮影)



H I Sのオンライン旅行で、世界自然遺産・知床の魅力をパソコンに向かって紹介する新村武志さん。奥に知床連山が広がる＝3月中旬、オホーツク管内斜里町(高橋義英撮影)

仮想旅行 知床へ海外へ

新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、人と会う機会が減る中、バーチャルリアリティー(仮想現実、VR)を活用した取り組みが旅行業界を中心に、全国で広がりつつある。オンライン旅行や空の旅の疑似体験などで、感染リスクが回避できる上、距離のハンディもないというメリットがある。北海道を含む地方にとっては大きな可能性を秘めている。

3月中旬、オホーツク管内斜里町ウトロの港。世界自然遺産・知床の雪化粧した山並みを背に、知床斜里町観光協会事務局長の新村武志さん(54)が一人、屋外に用意した椅子に座り、机に向かっていった。「豊かな自然や食が自慢です」。新村さんがパソコンに向かって話すと、歓声が聞こえた。

声を上げたのはパソコンで知床の映像を視聴する道内外の観光客だった。大手旅行会社エイチ・アイ・エス(H I S)の主催するオンライン旅行。客はこの後、網走沖の流氷クルーズの中継映像を楽しんだ。

H I Sは新型コロナ感染が深刻化した昨年4月から、こうしたオンライン旅行を企画。現在72カ国・地域の累計3900コースを展開し、今年3月末までで利用者は延べ6万人に上る。同社は「新しい挑戦で感染収束後の旅行需要を見据えている」と説明する。

コロナ禍で観光客減に苦しむ旅行業界はオンライン旅行に注目する。多くはオンライン会議システム「Zoom(ズーム)」による現地中継だが、事前に現地の名物を客に郵送し、客が食べながら映像を視聴するプランも。料金は

千円を切るものから、現地スタッフの買い物代行きで1万～数万円のプランもある。

旅客機による旅を再現したサービスもある。3月下旬、東京都豊島区の雑居ビルの1室。機内をイメージし、座席と32～55インチのテレビが並ぶ。ゴーグル型端末を装着した客は米ハワイの街並みや浜辺のVR映像を視聴。ハワイ風のコース料理も味わった。

ファーストエアラインズ(東京)が企画。「目的地」は米国やフランス、イタリアなどで、料金は2時間で5千～6千円台という。夫婦で参加した横浜市の会社員 A さん(54)は「次に行きたい場所を調べるのに最適」と話した。

道内では、札幌観光バス(札幌)が昨年7月、札幌や旭川、富良野など道内の観光地を

バスで巡る映像を流すオンライン旅行を始めた。3月末までに一般客向けで23回、団体貸し切りで13回実施。同社は「道内の観光地に詳しいバスガイドの案内が強み」という。

オホーツク管内清里町の自然ガイド業「知床清里町ウエネウサルみどり」は昨年6月からオンライン旅行を企画。小型無人機ドローンで撮影した町内の田園風景を紹介し、スタッフがピアノの生演奏を披露する。代表の菅野^{のまた}康彦さん(50)は「地方からでも工夫次第で地域の魅力を印象づけられる」と話す。

VRは旅行業界だけでなく、他の分野にも広がっている。(川浪伸介)



年 組 名前

道新のワークシート

① 記事の内容を参考に「仮想旅行」とは何か説明しなさい。

--

② もし、仮想旅行ツアーを企画するとしたら、あなたはどんな企画を考えますか。また、企画を考えた理由を、自分の知識や体験をもとにして書きなさい。

企画名	
理由	